

愛ちゃん 五輪切符!

写真 北朝鮮のキム・ユンミからポイントを奪いガッツポーズする福原愛（同右）両親に祝福される福原愛（共同）



日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS

4月10日 土曜日
2004年
(平成16年)
PM11:00

日本史上最年少代表!

福原愛の話 「本当ですかという感じです。五輪に出ることがわたしの夢だったし、一番大きい大会、出たことがないから分からないけど、やっぱりすごい大会だと思う。15歳ですけど、卓球をやってきて11年くらいだったので（年齢は）気にしていません。予選が終わったらまた夢をつくりたい」

【卓球アテネ五輪アジア予選】
◇2日目◇10日◇中国・北京
世界ランキング25位の福原愛（15）キム・ヒャンミ（北朝鮮）青森、青森山田高1年生）が女子シングルス決勝リーグでこの日3勝を挙げ、7位以上に与えられる五輪出場権を獲得した。福原は日本では史上最年少代表となる。

決勝リーグでは1次リーグで対戦した選手とは試合をせず、その結果を持ち越すためキム・ヒャンミ（北朝鮮）に敗れている福原は通算3勝1敗。4敗の尹智恵（韓国）、3敗のモウマ・ダス（インド）、1勝3敗のキム・ユンミ（北朝鮮）の3人が直接対決を残し、いずれかが5敗するため、福原が11日の3試合に全敗しても8人中最下位にはならない。

福原は世界173位のモウマ・ダス（インド）には力の差を見せてストレート勝ち。01年世界選手権銅メダルで同48位のキム・ユンミ（北朝鮮）と同13位の柳絮飛（香港）に、ともに4対1で快勝した。